

狭山池シンポジウム2017（第8回）

○開催日

2017年12月3日

○テーマ

狭山に行基がもたらしたもの

○内 容

第8回を迎える今回のシンポジウムでは、歴史学や考古学の視点から、行基と狭山池との関係についてお話いただきました。そのあとのパネルディスカッションでは、活発にご議論いただきました。

今回のシンポジウムでは、163名の参加があり、行基の行った活動から狭山池の持つ歴史的魅力を発信する機会となりました。

○パネリスト報告等

「史料からみる行基と狭山池」 磐下徹氏(大阪市立大学准教授)

「考古学から見た行基の活動」 近藤康司氏(堺市文化財課)

○パネルディスカッション

◇コーディネーター

栄原永遠男氏(大阪歴史博物館館長・東大寺史研究所所長)

◇パネリスト

磐下徹氏(大阪市立大学准教授)

近藤康司氏(堺市文化財課)



コーディネーター 栄原先生



パネルディスカッション風景